

令和5年度 英語学習実施状況について

金沢市立扇台小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和6年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	37	35	18	10	0
問2	英語の勉強は大切だ。	66	29	3	2	0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に 役立っている。	52	34	10	5	0
問4	英語の授業の内容がわかる。	45	39	8	8	0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	19	48	24	8	0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答える ことができる。	19	48	24	8	0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	65	24	6	5	0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	68	18	10	5	0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語 や英文を書き写すことができる。	63	32	3	2	0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	31	34	29	6	0

②指導改善の具体策

- ・自己表出する際の、発話や書くこと、英語でコミュニケーションをとることに苦手意識があるようだ。英語の知識を広げる意味でも英語STや授業内容の工夫改善が求められる。児童の生活実態に応じた会話の工夫やコミュニケーションを取るための、必要感に応じた場の設定を工夫していきたい。
- ・「英語STの時間は英語の勉強に役立っている」という設問では、肯定的評価の数値86%であることから多くの児童は役立っているという認識である。ただ、「アルファベットの小文字や大文字が書ける」という設問に対しては、肯定的評価は高くない。子どもたちの認識と、学習効果を上げていくことが今後の課題である。発達段階に応じて、書くことを繰り返し行い、継続した指導を心がけることにより、自信をつけさせたい。
- ・「教科書の単語や英文を読むことができる」の設問に対して、肯定的評価が低かった。子どもたち同士のグルーピングにより、繰り返し発話させる場面を多くしたり、少人数の中で互いに、話す・聞くを繰り返し行い、自信につなげていきたい。
- ・過去の意識調査と比較すると、「英語の勉強が好きだ」の設問に対する肯定的評価は少しずつ上昇している。

③学校関係者評価

- ・英語学習は、低学年からの積み上げが重要であり、まずは易しく、楽しくコミュニケーションをとりながら身に付けていくことが大切だと考える。少しずつ、レベルを上げ、各学年の内容の定着を図り、積み上げていくことで子どもたちの英語に対する意識の変化が生まれると思う。学校には是非、いろいろな工夫をしていただき、子どもたちの苦手意識の緩和に努めてほしい。